

競技注意事項

1. 競技規則について

本大会に適用する規則は、2018年度日本陸上競技連盟競技規則および本大会規定である。

2. 招集について

(1) 招集所は、メインスタンド下の雨天走路に設ける。

(2) 手順

① 招集開始時刻に競技者係の点呼を受ける。トラック種目出場者は、招集開始時刻までに自分のレーンナンバーを確認して、腰ナンバーカードを右腰のやや後方につけておくこと。招集時には、ナンバーカード（各自の登録番号）とスパイクピン等の確認を受ける。

また、競歩競技においては別ナンバーカードを使用することがある。その際は、招集時に自分のナンバーカードを競技者係に示し、別ナンバーカードを受け取ること。

② 点呼の代理人は認めない。但し、2種目を同時に兼ねて出場する競技者は、第1種目の招集開始時刻までに本人がプログラム巻末、または招集所にある「2種目同時出場届」に必要事項を記入し、競技者係に提出すること。その場合に限り、代理人の点呼を認める。また、競技については本人がフィールド審判に申し出て、トラックの方を先に行うこと。

(3) 招集完了時刻に遅れた競技者は出場する意志がないものとみなし処理する。

(4) 招集完了時刻は下記の通りとする。種目別の招集開始時刻・完了時刻は、プログラムの競技日程欄に記入されている。

種目	予選		決勝	
	開始時刻	完了時刻	開始時刻	完了時刻
トラック	30分前	20分前	25分前	15分前
フィールド			50分前	40分前
棒高跳			90分前	80分前

(5) リレー種目

① リレー種目のオーダー用紙は、受付時に手渡す。リレーメンバー以外から起用する場合は、必要事項を忘れずに記入すること。選手変更の有無にかかわらず第1組の招集完了時刻の1時間前までに競技者係（招集所）に提出すること。オーダー用紙の提出がない場合は、棄権したものと処理する。

② 出場メンバー全員が点呼を受けること。ただし、他種目に出場している場合は、上記(2)の②に準ずる。

③ オーダー用紙提出後の選手変更は認めない。ただし、怪我等の急なアクシデントにより、メンバーの出場ができない場合のみ、本部が指定した医務員の判断によって、変更が認められることがある。

(6) やむなく欠場する場合は、招集開始時刻までにプログラム巻末またはアスリートランキング.com上にある「欠場届」に必要事項を記入し、競技者係に提出すること。

(7) 混成競技については、第1日目、第2日目ともに第1種目については招集所で競技者係の点呼を受ける。時刻は上記の表に準ずる。第1日目、第2日目ともに2種目以降については、混成競技控場所で点呼を受け、係の指示で各競技場所へ移動すること。（混成競技控場所での点呼は、完了時刻をトラック15分前、フィールド30分前とする。）最終種目については招集所で競技者係の点呼を受ける。時刻は上記の表に準ずる。

3. 競技進行について

(1) 番組編成およびラウンドの通過について

① トラック競技のレーン順、およびフィールド競技の試技順は、全てプログラム記載のとおりとする。準決勝以降の組み合わせはすべて番組編成員が行い、記録掲示板と招集場で発表する。

② トラック競技において、次のラウンドへの上場者を決める時は以下の方法で行う。

(ア) $+ \alpha$ を決めるとき、その最下位で同タイム者(1/100秒)が出た場合は、写真を拡大して1/1000秒単位で優劣の判定をする。

- ・レーンに余裕がある場合・・・同タイム（1/1000 秒単位）の選手の進出を認める。
- ・レーンに余裕がない場合・・・本人または代理人により抽選する。

(イ) 同着により着取りによる進出者が増えた場合は、+αでの進出者数を減らす。

(ウ) 800mとオープン・レーンを使用する種目

同タイム（1/1000 秒単位）の選手は全員次のラウンドに進める。

(2) 競技について

- ①スパイクのピンは11本以内とし、ピンの長さは9mm以下で、ピンの直径の先端は少なくとも長さの半分が4mm四方の定規に適合すること。但し、走高跳・やり投については12mm以下とする。
- ②ナンバーカードは指定された大きさでユニフォームの胸部と背部につけること。但し、跳躍競技に出場する選手は、胸部または背部だけでよい。
- ③男子5000m、女子3000mはグループスタートで行う。
- ④トラック競技の短距離種目では、競技者の安全確保のためフィニッシュ後も自分のレーン（曲走路）を走ること。
- ⑤フィールド競技において、コーチの競技者に対する助言が競技の進行を妨げないようにするため、近接の観客席・及びスタンド下に「コーチ席」を設けるので、競技者への助言はすべてコーチ席で行うこと。
- ⑥競技区域内に携帯電話・スマートフォン・タブレット等の機器を持ち込むことはできない。また、競技区域内で助力を与えたり受けたりしている競技者は、失格の対象となる。フィールド競技中に競技者が、それ以前の試技の映像をコーチ席以外の場所で見ると、録画再生機器等をスタンドからの手渡しや吊り下げにより競技区域に持ち込むことは認めない。
- ⑦競技場内での練習は、競技役員の指示に従うこと。
- ⑧招集所からスタート地点、跳躍場、投てき場へ行く場合、競技者係の指示に従うこと。
- ⑨三段跳の踏切板は、男子11m00cm、女子9m00cmに設置する。

(3) 走高跳、棒高跳びのバーの上げ方は下記のとおりとする。（ ）内は公式練習の高さである。

男子走高跳	(150) 160 165 170 175 180 183 186 (180) () 選手の実力に応じて追加することがある	以後3cmずつ上げる
女子走高跳	(130) 135 140 145 150 155 158 161 (150) () 選手の実力に応じて追加することがある	以後3cmずつ上げる
男子棒高跳	(280) 280 300 320 340 360 380 390・・・430 (380) () 選手の実力に応じて追加することがある	以後5cmずつ上げる
女子棒高跳	(200) 200 220 240 250 260 270 280・・・350 (300) () 選手の実力に応じて追加することがある	以後5cmずつ上げる
八種競技走高跳	(140) 145 150 155 160 165 170 173 () 選手の実力に応じて追加することがある	以後3cmずつ上げる
七種競技走高跳	(115) 120 125 130 135 140 145 148 () 選手の実力に応じて追加することがある	以後3cmずつ上げる

*同記録による1位決定のバーの上げ下げは、走高跳2cm、棒高跳5cmとする。

(4) 次に示す種目はタイムレース予選とし、上位8位までが決勝へ進出する。

男女800m、男子110mH、女子100mH、男女400mH

(5) 次に示す種目はタイムレース決勝とする。

男子5000m、男子3000mSC、女子3000m、男女4×100mR、男女4×400mR

(6) 次に示す種目はタイムレース予選とし、上位1位～8位がA決勝、9位～16位がB決勝へ進出する。

男女100m、男女200m、男女400m

(7) 競技運営上の理由により、以下の種目において下記のタイムを超えて周回を残している場合は、フィニッシュ地点で競技を中止させる。

種目名	男5000m	男3000mSC	女3000m	男5000mW	女5000mW
制限タイム	18' 30"	13' 00"	13' 00"	35' 00"	35' 00"

- (8) 5000mW決勝は、100mH、110mHと並行して行う。
- (9) 跳躍・投てきともに計測ラインを設定する場合がある
- (10) リレー競技に出場するチームは、上衣は同一ユニフォーム、下衣は同色で参加しなければならない。
- (11) 5000m、3000m、5000mWにおいて、バックストレートで給水ポイントを設置することがある。

4. 競技用具について

- (1) 棒高跳用ポール・やり以外の競技用具は、競技場備え付けのものを使用する。
- (2) やりは競技場備え付けのものを準備するが、検査を受けて自己のものを使用してもよい。なお、やりの検査は競技開始90分～60分の時間帯に、100mスタート側の倉庫前で行う。以前の検査シールは剥がして持参すること。（日本陸連の検定シールは剥がさない。）

5. 抗議について

抗議は日本陸上競技連盟規則により、所定の手続きをとるものとする。

6. 表彰について

- (1) 各種目3位までの選手を表彰する。成績発表後5分以内に本部席前に集合すること。必ず競技服装で集合し、出席できない場合は代理人を立てること。
- (2) 種目得点は、1位8点、2位7点、……以下8位1点とする。
- (3) 競技会終了後、表彰式を行う。男女総合、各学年男女別総合3位までに入賞した学校は参加すること。

7. その他

- (1) 顧問及び引率責任者(代理)の出席(審判)なき場合は、選手の出場は認めない。なお、競技役員受付を必ず通過すること。
- (2) ウォーミングアップは、補助競技場(サブ・グラウンド)で行うこと。ただし、投てきの練習は、招集完了後、役員の手指示により各投てき場で行う。各自で行わないこと。男女円盤投、男女ハンマー投については、補助競技場で行われる。ウォーミングアップ等で使用する際は十分に留意し、カラーコーン内には入らない。また、安全確保の観点から、バックストレートを全面立入禁止にすることがある。
- (3) 応援はスタンドで行い、競技場トラック周辺に降りて行わないこと。また、集団での連呼応援は自粛すること。（特にトラック競技のスタート直前は注意すること。）また、円滑な競技会運営のため、コーチ席並びに報道エリアを、観戦や応援のためのスペースよりも優先して設置する。
- (4) 更衣室の使用は更衣のみとし、使用後はすみやかに退室すること。また、一切の私物を置いてはならない。
- (5) 競技中に起こった怪我については、本部の医務室で応急処置のみ行う。
- (6) スタンド等で使用した場所は、各校で責任をもって清掃し、ゴミはすべて持ち帰ること。
- (7) フィニッシュ後のスタート地点への移動等は、必ずスタンド下の通路や競技場の外側を使用すること。通行禁止や使用禁止の表示がある場合は、厳守すること。
- (8) 本部席前は通行を禁止する。許可された者(補助員)以外は通らないこと。また、審判長、総務、アナウンサー前での助言は競技会運営に支障を来すため行わないこと。
- (9) メインスタンドのロイヤルボックス席並びに記者席には立ち入らないこと。
- (10) テントの設置、旗・横断幕の貼り付けは、すべてのスタンド(メイン、バック、サイド)で中段通路より上部とする。
- (11) スタンド等における各校待機場所がトイレ前や通路、階段をふさぐことのないようにすること。
- (12) 商標規制については日本陸上競技連盟規則に準ずる。
- (13) 公園内・サブトラックでは、メディシンボール、チューブ等の使用を禁止する。トラック上に競技場備え付けの用具以外設置してはいけない。
- (14) 盗撮行為等を防止するために、各校に撮影許可証(腕章)が配布されているので関係者の撮影の際には必ず腕章を着けること。また「撮影禁止区域」をスタンドに定めることもあるので、関係者もその場所からの撮影を控えるようにすること。